

基本目標に付随する数値目標の指標一覧

基本目標	シート No.	数値目標	指標担当部課等	指標の 方向性	進捗説明	従前値	単位	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位	目標年度	H28 実績 値	単位	フォローアップ (H28数値 確定)の時期	評価			効果発現要因(成果)
																			有効性	効率性	総合評価	
Ⅰ つくばの特性をいかした産業競争力の強化でしごとをつくる	①-1	新規正規就職者数の増加	経済部産業振興課、 経済部農業課	↑	概ね順調	2325	人	517	1,034	1,550	2,067	2,584	2,584	人	H31年度	1,207	人	H29.5	中:適切な成果が得られている	中:適切な費用対効果が得られている	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	○ふるさとハローワークを市の中心部に移転し、アクセスの利便性が向上したことにより、子育て世代の相談が増えた。それに伴い、乳幼児同伴で相談ができるようキッズコーナーを整備した。 ○母数である創業件数の増加による。 ○関係機関と連携した相談対応や補助制度等の支援。
	①-2	新規創業数	経済部産業振興課	↑	順調	24	人	36	72	108	144	180	180	人	H31年度	123	人	H29.5	高:成果が向上(高水準を維持)している	高:費用対効果が向上(高水準を維持)している	S:成果・費用対効果を維持して継続実施	平成26年度に構築した創業支援ネットワークが軌道に乗り、創業しやすい環境が整ってきたことによる。
Ⅱ 結婚し、子どもを産み・育て、健康に生活できる環境をつくる	①-3	合計特殊出生率の向上	保健医療部健康増進課	↑	概ね順調	1.43	人	1.45	1.48	1.50	1.53	1.55	1.55	人	H31	1.45	人	確定	中:適切な成果が得られている	中:適切な費用対効果が得られている	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	周辺地区では低い数値(1.16)であるが、TX沿線地区において高い数値(2.37)を示していることから、市の全体的な合計特殊出生率の向上を牽引している。
	①-4	保育所の待機児童数	福祉部こども課	↓	やや遅れ	104	人	88	70	53	35	18	0	人	H31年度	-	人	H29.6	中:適切な成果が得られている	中:適切な費用対効果が得られている	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	保育所、認定こども園の新設4件のほか、小規模保育事業の導入や既存施設の増築等により、426人分の定員拡充を図った。 沿線開発地区を中心に子育て世代が流入するとともに、共働き世帯の増加等により、保育需要が急増している。
Ⅲ 交流・居住環境の魅力を高め、つくばにひとを呼び・ひとを留める	①-5	東京圏からつくば市内への年間転入者数の増加	市長公室ひと・まち連携課	↑	順調	3843	人	3,921	3,999	4,077	4,155	4,233	4,233	人	H31年度	4,155	人	H29.6	中:適切な成果が得られている	高:費用対効果が向上(高水準を維持)している	A:費用対効果を維持して継続実施	大きく数値が向上した昨年と同程度の数値を維持している。東京事務所等を通した首都圏向けのシティプロモーションや、今年度新たに始まった「かよえる かえる つくば」等の移住希望者向けの定住促進イベントなどによるつくば市の居住環境のPR等が転入増加に奏功していると考えられる。
	①-6	つくば市内からの若者(15～29歳)の年間転出者数の増加数抑制	市長公室ひと・まち連携課	↓	概ね順調	5713	人	5,821	5,917	6,001	6,073	6,133	6,133	人	H31年度	5,929	人	H29.6	中:適切な成果が得られている	中:適切な費用対効果が得られている	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	昨年度は数値の悪化が見られたが、今年度は目標値に近づき、転出数は抑制傾向にあり、本年度の目標とほぼ同程度である。東京一極集中の是正のためにも、引き続き転出数を抑えていく必要がある。
Ⅳ 公共交通網で結ばれた安全で安心な地域をつくる	①-7	つくバス利用者数	企画部総合交通政策課	↑	順調	888,032	人	924,373	960,714	997,055	1,033,396	1,069,739	1,069,739	人	H31年度	755,793	人	H29.5	高:成果が向上(高水準を維持)している	中:適切な費用対効果が得られている	A:成果を維持して継続実施	交通需要及び市民ニーズに即して、利便性向上及び定時性保障のため、バス停及びダイヤ見直しなどの細やかな運行管理を行い、利用者数の増加につなげている。
	①-8	まちなか居住人口	企画部まちなみ整備課	↑	概ね順調	88,477	人	91,074	94,559	98,263	102,100	106,023	106,023	人	H31.10	93,881	人	確定	中:適切な成果が得られている	中:適切な費用対効果が得られている	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	国家公務員宿舎の廃止による人口移動等の影響により、想定値を少し下回る結果となった。TX沿線地区においては、対前年比4,342人と大幅に増加している。
	①-9	まちなか人口密度	企画部まちなみ整備課	↑	概ね順調	36.52	人/ha	37.60	39.03	40.56	42.15	43.77	43.77	人/ha	H31.10	38.75	人/ha	確定	中:適切な成果が得られている	中:適切な費用対効果が得られている	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	国家公務員宿舎の廃止による人口移動等の影響により、想定値を少し下回る結果となった。TX沿線地区においては、対前年比4,343人と大幅に増加している。